

# 文化プログラムについて

## 1. オリンピック憲章

### ☆オリンピズムの根本原則

オリンピズムは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探究するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。

### ☆規則39 文化プログラム

OCOGは少なくともオリンピック村の開村から閉村までの期間、文化イベントのプログラムを催すものとする。当該プログラムはIOC 理事会に提出し、事前に承認を得なければならない。

## 2. 東京2020大会における位置づけ

### ☆東京2020大会開催基本計画 (2015年2月)

#### ① ミッション(Mission)

東京2020大会で最高の文化プログラムを実現するため、東京、日本、そして世界の文化における最高の要素を取り出し、大会ビジョンから発想を得た多様なプログラムを展開。2020年より先の未来に日本や世界の文化を継承していく。

#### ② 主要目標(Key Objectives)

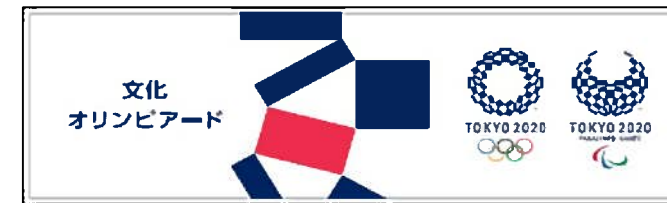
- ・ 国内外の多様な文化団体や芸術家による双方向で先進的な最高の文化プログラムを展開すること。
- ・ コミュニケーション戦略に基づく多様な文化プログラムを通じて、文化に関する意識を広めると共に、全ての人々にオリンピック・パラリンピックのメッセージを伝えること。
- ・ 国内外の若手芸術家や障がいのある芸術家などの文化交流支援といった、挑戦的なプロジェクトを通じて、多様な文化・価値観を共有する取組をさらに広げていくこと。
- ・ 文化のレガシーに関するビジョンを共有し、文化プログラムを通じてオリンピック・パラリンピックムーブメントを未来に継承していくこと。
- ・ 文化に関するレガシーを実現するために、文化に係るアクション&レガシープランを策定し、様々な取組を実施すること。
- ・ オリンピックアジェンダ2020における、オリンピックブランドの非商業利用への拡大の提言を踏まえ、文化プログラムでの東京2020大会ブランドの非商業利用を検討する。

## 3. 東京2020大会での文化プログラムに係る主な動き

(文化庁「平成29年2月16日資料 文化プログラムの実施について」より抜粋)

### ☆東京2020参画プログラム (東京2020組織委員会)

#### <公認プログラムマーク>



「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム。

組織委員会、国、開催都市、会場所在地地方公共団体、公式スポンサー企業、JOC、JPCが実施。

#### <応援プログラムマーク>



2020年東京大会の関連事業として、非営利団体が実施する文化プログラム。

地方公共団体や独立行政法人等非営利団体が実施。

### ☆beyond2020プログラム (政府・東京都)

#### <beyond2020ロゴマーク>



政府と東京都が一体となって推進する文化プログラム。

公式スポンサー以外の企業等が実施する事業も対象。